

原油高騰 バイオディーゼル燃料に注目

エコな廃食用油

使用済みの天ぷら油などの食用油でディーゼル車が走れる。チェーンやBDFの製造業者、自治体が一体となり、廃食油の回収を進める動きが出ている。道庁圏での動きを先進地、京都の取り組みを紹介する。

セル燃料(BDF)が注目されている。札幌圏でも、飲食店

(川村史子)

ハンバーグ・レストランのドンキー四店舗(清田店、南入れて持って来ると、先着百「びっけのドンキー」などを 郷通の店、西岡店、恵庭店) 二十人に二枚ごとに「えこりん」運営する飲食店チェーンのあと、カーニングと農業と環 村の特製トマトセリー」レフ(札幌)は十月から家庭 境のテーマパーク「えこりん 個をプレゼントする。集めたから出る使用済みの天ぷら油 村(恵庭市牧場)内のレス 食用油は、十二月に恵庭市柏など植物油のリサイクルを始 トランで、廃食用油を回収す 木町に完成する新工場内のプラントで精製して、軽油の代

替燃料となるバイオディーゼル燃料(BDF)をつくり、

「えこりん村」の送迎バスの燃料に使う予定だ。

同社は昨年七月、ナタネを植えて種から食用油をしばらくして店舗で使い、使用済みの食用油をBDFに変える「ナタネプロジェクト」をスタートさせた。今年八月には昨年まいたナタネから三つの種を収穫。九月上旬には同市内の島松小学校の児童約百五十人と



▶使用済み食用油から精製した軽油の代替燃料だけで走る循環バス

「恵庭市の「えこりん村」

バス燃料に再利用 札幌のファミレス ナタネ栽培、精製へ

道庁 2006-9-14(木)